

～日本の食文化を守る～

いごや

H27

36

枕崎
鯉節



枕崎水産加工業協同組合
枕崎青鯉節会

(財)食品産業センター認定

本物の本場

厳選原料・伝統の味
www.honbamon.jp

※ゆでる小屋→いでの小屋(枕崎弁)→いごや

一年間を振り返り

青鯉会会長 立石 康隆



まず、会員並びに関係各位の皆様、今年一年間、青鯉会の活動にご協力ご支援頂き誠にありがとうございます。す。

四月からのスタートで、毎月の代議員会議、食育、研修旅行、みなと祭り、産地入札：と色々な行事をおこなってきました。

食育に関しましては、二月にまだ残ってますが、副会長を中心に三つの委員会それぞれのスタイルの食育活動ができたと思います。

研修旅行では、全鯉青の研修旅行に合わせて、台湾に行つて来ました。現地のスーパー、市場の視察、観光など参加された方々と、より交流が深まったと思います。

枕崎市のメインイベントでもあるみなと祭り、かつお祭り、第三十回国民文化祭などでは、日頃から迷惑をかけてます市民の皆様にも感謝も込めて鯉節を使った料理などの無料

配布、削り節体験等、積極的に参加させて頂きました。

最後になりますが、会員の皆様、こんな未熟な私を支えて頂きありがとうございます。残り三ヶ月もう少しお付き合いお願い致します。

「枕崎鯉節」の更なる前進を

枕崎水産加工業協同組合

代表理事組合長

西村 協



青鯉会会員の皆様方には、かねてから組合事業に対する多大なるご支援や会員相互の連携による「枕崎鯉節」の宣伝活動に、惜しみないご協力を頂き心から感謝申し上げます。

また、枕崎市の基幹産業である水産加工業の振興においても、青鯉会の存在は無くしてはならないものであり、その重責を担うことは使命であるとともに、その責に思いを馳せていることが業界の誇りでもあると存じます。これも会長をはじめ多くの会員の皆様方のご協力の賜物と敬意を表する次第です。

昨年からの中国経済が減速するなどの影響を引きずりながらも、国内の経済は様々な景気回復の対策に

よって、景気の回復に期待するなどの報道がなされていますが、地方経済には一向に景気回復の兆しは見えてこない状況が続いているように思われます。そんな中、国内においては少子高齢化や食の欧米化で水産物市場は縮小傾向にあります。しかし、世界に目を向けると食の多様化・健康志向などを背景に和食がブームとなつています。更には、「和食」の世界無形遺産登録などもあり、日本の和食は今後も拡大傾向が予想され、和食の「だし文化」の一翼を担う業界としては、厳しい経営環境ではあります。後世に伝えるべく事業継承に注力していくことが重要となつてきます。そのためには、カツオ原料の安定確保への活動や衛生管理向上の対応も必要と考えており、枕崎漁港が整備中である高度衛生管理型荷捌き所を活用した生産拠点の整備を推進する必要があると思えます。

このような中、九月に行われた産地入札会では、出品数量は減少したものの、価格的には納得いく価格帯で取引される結果となりましたが、これからも「食の安全・安心」をしっかりと受け止め、日本古来の食文化を支える「鯉節」の良さを再認識するとともに「枕崎鯉節」の安全性と品質の良さを全国にアピールしてい

くことが今後の課題でもあります。青鯉会の皆様には、伝統技法を活かした美味しくて安全安心な「枕崎鯉節」の製品づくりに日々研鑽し、更なる品質向上とブランドの確立を目指して、品質、量ともに日本一の産地枕崎を磐石なものになるよう会員の強力な連携を心から期待しております。

最後に、来る年が青鯉会の皆様方にとって、良い年でありますようお祈り申し上げます。

青鯉会・「枕崎鯉節」の

更なる発展に期待



枕崎市漁業協同組合
代表理事組合長

上野 新作

青鯉会会員の皆様には、かねてより地場産業振興発展のために積極的な取り組みや、活動をされていることに対して心から敬意を表します。

ご承知のように世界の水産業が右肩上がりの成長を続けているのに対し、日本の水産業は低迷の一途を辿っています。かつては世界の海を制覇した日本の水産業でありましたが、残念ながら漁獲量・漁獲高ともに減少し続けております。原因とし

て、世界的な漁業規制の強化や乱獲、世界的温暖化による海水温上昇等の自然環境の悪化で魚資源の減少化とともに、若い世代を中心とした魚離れが進み、水産業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが魚食普及の面から若い会員の力で、この難局を打開していただきたいと願います。

今年例年より多く、大型台風が接近上陸しましたが、その中でも八月二十五日熊本県荒尾市に上陸した台風十五号では枕崎市でも大きな被害を受けたかつお節工場もありました。被災に遭われた皆様に対して心よりお見舞いを申し上げます。

又、九月に開催されたかつお節の産地入札即売会では、前年より数量で四トン少ない出品数でしたが大半の品種で前年度を上回る価格となり、生産者にとって少しは明るい取引になったのではないかと思います。

さて、二〇一三年十二月、和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたことも追い風となり和食人気が世界各地で高まっておりますが、そこで『本物のダシ』を世界に広めるためにも、現在進行中であり『枕崎フランス鯉節』社が、鯉節の生産に着手し製品を作り上げ、十年後、二十年後を見据え和食のすばらしさ

を世界に発信し、先人達が築き上げてきたカツオ節製造の伝統をしつかりと後世に引き継いでいくことが重要不可欠なことだと思っております。

最後に、青鯉会の皆様方の益々のご活躍と鯉節業界の発展を祈念して挨拶いたします。



新たな発想のプラスアルファを



枕崎市長
神園 征

枕崎は、元々、かつおのまちとしてイメージがあり、かつお節、かつおの刺し身やタタキという印象が強かった中で、それらの素材を活かした「かつおラーメン」や「枕崎めし」などの新たなグルメの創造は、近年の枕崎を盛り上げる一つの起爆剤になったと思います。

市外の方からも、「商店街グルメナンバーワン決定戦SHOW・1グルメグランプリでの躍進、連覇すごいね」という声を、多数聞きました。枕崎鰹船人めしの創造も、商店街の方々や関係者の努力もさることながら、素材となるかつおや「かつお節」のポテンシャルの高さにあると思います。また、それを引き出す人、やる気、モチベーションの高さも。

この『かつお節』について、今回のフランスでのかつお節工場建設という将来的なヨーロッパ市場の開拓と、先人がカツオ漁の南洋漁場を開拓したことは、何かつながりを感じます。海外進出、それもヨーロッパ、フランス料理の本場に工場を建てるということは、偉大な挑戦だと

思います。商品の力を信じる思い、成し遂げようとする組織の力を信じる思い、限界を設けない姿勢・プライドを感じます。

いつの時代も、新しいことへ挑戦する気質、海外（外洋）へという考えは、港町の気質かと思えます。「かつお節」をフランスでつくるといって発想は、私には出てこないし浮かびません。新たなものがもたらすインパクトを、もっと市民に感じてもらえたらと思います。

今後、日本などの先進国は人口減少が進むと思われませんが、世界的には人口は増え続け人々の生活は豊かになり、穀物・野菜・肉や魚などの食料不足が、顕在化・深刻化するところが懸念されているところです。そのような中であって、日本の食文化を広めることは、「かつお節」のより大きな広がり、飛躍的な展開が期待されるところです。また、人口減少が続く中で、女性の活躍なしに社会の発展はないと思いますので、業界でかつお節をつくること、販売することに携わっている女性の方々の一層の活躍も期待したいです。

今の時代背景的には、戦略として新たな産業・モノの創造も考えないといけないと思います。しかしながら、簡単に成功する、すぐに成果が出せる話ではないので、枕崎は現在

ある地域資源を活かして、その付加価値を高めたり、生産性を向上させて利潤を上げていくことも必要かと思えます。

行政経営にも通ずることですが、商品の製造やサービス提供の過程を見直して無駄を省いたり、機械化したりする地道な作業と、経験に基づいた伝統的な技法の両立、それと何か新たな発想のプラスアルファ（技術革新・イノベーションなど）を期待します。

平成26年度 青鯉会事業報告



大漁祈願 ワッショイ！！



醤油工場見学

- 1 / 30 研修旅行
- 1 / 31 全鯉青安房大会
- 第39回全国鯉節類青年連絡協議会
安房大会
- 大会スローガン
- 発信せよ！〜OURの魅力〜
- 2 / 14 火の神保育園食育
- 2 / 26 長野幼稚園食育
- 3 / 9 富士保育園食育
- 3 / 22 枕崎駅舎周辺完成イベント
- 3 / 27 漁協懇親会
- 5 / 4〜5 かつお祭り
- 5 / 20 KTS鹿兒島フィーバー
- CM撮影
- 6 / 10 立神保育園食育
- 6 / 19〜21 台湾研修旅行
- 8 / 8〜9 きばらん海枕崎港祭り
- 9 / 10 第70回さつま鯉節産地入札
- 10 / 31〜11 / 1 国民文化祭
- 11 / 8 森病院バザー
- 11 / 21 妙見保育園食育



削り体験をする子供達



Youtubeで「かごしまフィーバー」を検索！

食育活動報告

(以下文章は、全鯉青フェイスブックページより引用)

2/14 火の神保育園

第一回目の食育授業は父兄参観ということもあり、園児30名余りに父兄と先生、合計80名程の方に鯉の生切りを見て頂き、その後パネルを使用し製造工程を説明しました。部屋に移動した後は、削り大会を行い、時間もあつたことから大人の参加者を募つたところ、多くの方が参加して下さいました。自分の親や先生を応援する園児も多く、とても楽しい時間となりました。

最後は、それぞれ自分で削つた鯉節で茶節(即席みそ汁)を作つてもらいました。

鯉(魚)が削り節になるということ伝えることができ、命をいただくことも伝えることができたと思います。

2/26 長野幼稚園

園児40名余りに鯉の人形を使ってさばき方を説明し、パネルを使用し製造工程を説明しました。その後、恒例の削り大会を行いました。自分で削つた鯉節を使用し園児と一緒に茶節を作りました。



そして、最後には園児のみんなからお礼の歌のプレゼントをいただきました。

「食育」こちらが教えるだけではなく、私たちも園児から多くのことを学び、元気をいただいております。

「ありがとうございます」

3/9 富士保育園

この日は、なんとカツブシカッコちゃんに来てくれて、約30名の園児の前で鯉をさばいてくれました。子供たちは、目をキラキラさせながら説明を聞いてくれていました。カツコちゃんは、その後、園児達と一緒に鯉節削りも行い、最後には園児たちにプレゼントも渡してくれました。あつという間の食育の時間で、楽しい時間となりました。

園児たちの記憶に残る食育となつたと思います。

『鯉節〆おいしい〆たのしい』

今日の園児たちの顔を見ていたら、家に帰って楽しく話をする子供達の顔がうかびました♪

鯉節をこれからもいっぱい食べてくれると嬉しいです。



6 / 10 立神保育園

この日も保育参観ということもあり、園児・父兄ともに計150名余りの前で、鯉節の出来るまでをパネルと人形を使い説明しました。その後、削り体験、自分で削った鯉節で茶節作り・試飲まで行ってもらいました。

途中から、カツブシカツオくん・カツブシカツコちゃん、そしてブシダーも登場し、会場は大賑い♪ カツくんはお友達をサポート、カツコちゃんとブシダーは皆の応援と大活躍でした。

最後には三人から園児にお土産もあり、最初から最後まで笑顔の絶えない食育授業となりました。そして、笑顔と同じくらい嬉しかったのが園児からのプレゼントです。みんなで作った「カツオの切り絵」とお昼の給食で食べる「鯉コロツケ」を頂きました。

私達にとっても楽しい時間となりました。子供たちにとっても楽しい時間として、鯉節を食べるときに思い出して更においしくいっぱい食べてくれると嬉しいです。



女が世を治す



11 / 8 森病院バザー

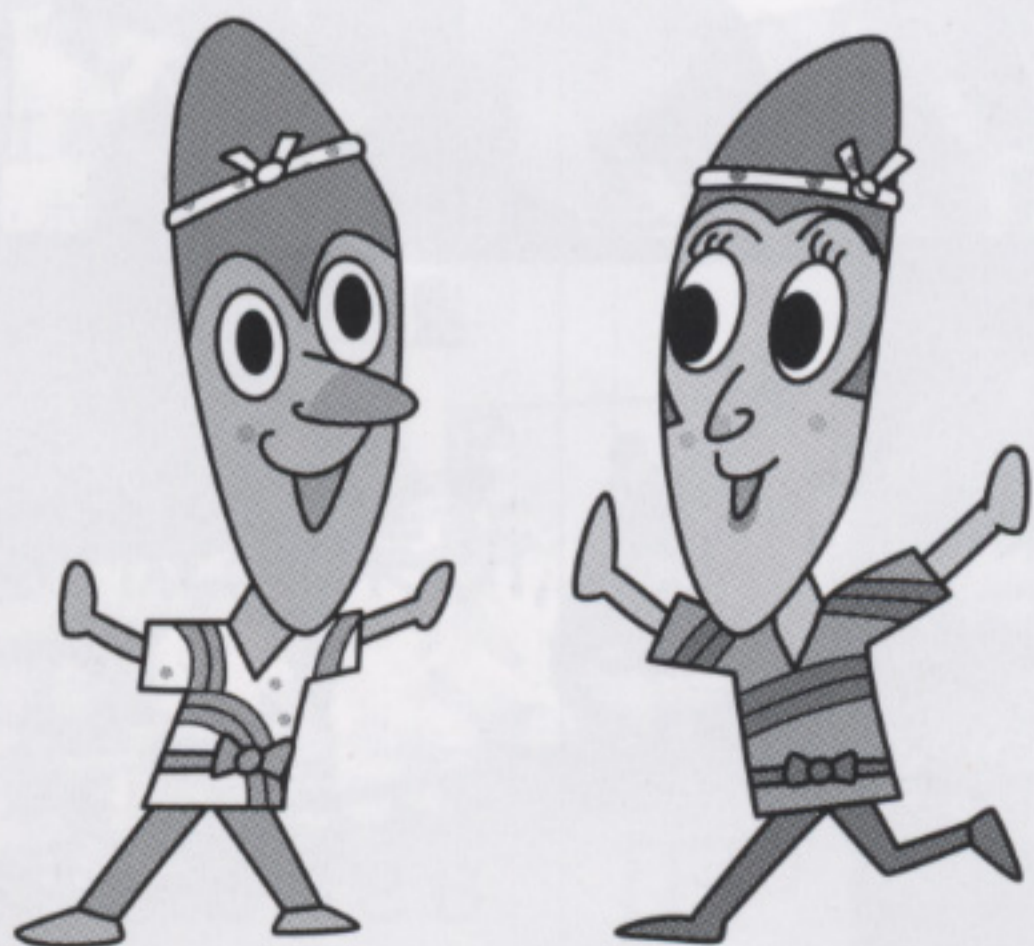
毎年恒例となりました枕崎市内の森産婦人科主催のバザーに参加してきました。

カツくんとカツコちゃんも駆けつけてくれて始まった【かつお塾】産婦人科ということもあり、小さい子供連れの家族が多く、たくさんの子が参加してくれました。カツくんによる解体ショーから始まり、本枯節ができるまでの説明、削り体験、茶節試飲と盛りだくさん！

会場は、鯉節の香りと楽しさであふれていました♪

鯉節は安心安全で健康にも良いので、離乳食にも最適です！

赤ちゃんから大人まで、たくさん食べてもらいたいです。



女が世を治す

11/21 妙見保育園

今年最後の食育授業を行ってきました。まずは鰹節の勉強を、カツくん、カツコちゃんと一緒に、学童保育に来ていた小学生と園児の計60名余りの子供達に鰹節ができるまでの説明を聞いてもらいました。

そして、0歳から3歳の小さい子供も合流し、鰹節削りを行いました。最後には、まだ削れない子供達のために、私達青鰹会メンバーとカツくん、カツコちゃん、みんなに食べてもらいました。みんな、削りの応援ありがとうございました。

カツくんが削った鰹節を男の子が口いっぱいにはおぼり、先生たちもビックリ大笑いで、とても楽しい時間となりました。

今日一番印象に残りましたのが、鰹節製造工程を説明した後の子供たちからの質問です。

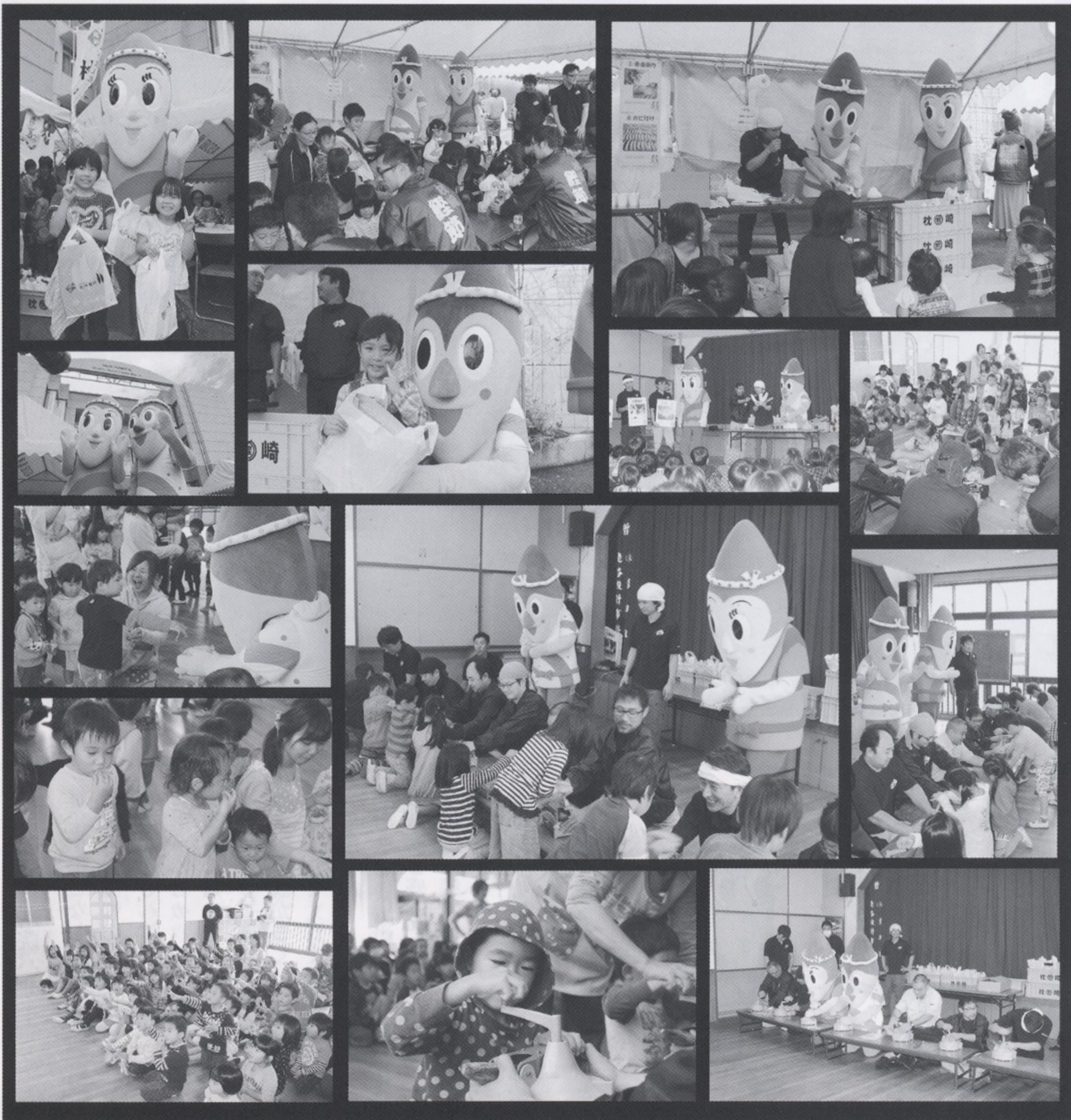
小学生低学年の子が

「どうして、できあがるまで一年もかかるときがあるんですか？」

「カビは、どこでどうやってつけるんですか？」

鰹節を造る者として、こんな質問ももらえて本当に嬉しかったです。

今日一日で、たくさんのお友達が鰹節のことを覚えてくれたと思います。お家に帰って、お父さん、お母さんに鰹節の事を話して、いっぱい鰹節を食べてくれたら嬉しいです。



卒 会 者

刃畑野 涼太

青鯨会の皆様、21年間という長い間ありがとうございました。

21年間の間には、休会していた若鯨会も復会し、いろいろなイベントに参加したり、最近では食育活動も積極的にやってきました。

入会当初は、まだ商売どころか鯨節の作り方も分からない状況でした。そんな中、先輩達がいろんな事を教えてくれ、今の自分があるんだと感謝しております。

後輩達もくっつくたくなく、本当の事をぶつけあういい会であったと感じています。そんな中、突然全鯨会会長を指名され、当初は本当に自分ではないのかと悩みましたが青鯨会での経験や知識でなんとかやってきます。



立石明久 園田和考 畑野涼太 久保智英

今後の青鯨会は、他の地区に比べ圧倒的に若手が多く、お互いに切磋琢磨しあいながら次の時代を作り上げてください。

来年度は一緒に活動は出来ないですが、全鯨会には残っていますのでよろしく願います。本当に長い間ありがとうございました。



二〇一五年度
青鯨会会長
戸床恵美子

この度、二〇一六年度の青鯨会会長と務めることになりました。

私には大役では御座いますが、一年間精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

二〇二〇年に東京オリンピック招致が決定し、今後食品業界をはじめ我が業界も更なる厳しい基準を強いられると思われまます。

その為にも、枕崎鯨節の更なるブランド力と各々の知識力を身に着けるために、今期は様々な勉強会を取り入れて行こうと思っておりますので、会員の皆様ご協力のほど宜しくお願い致します。

また、卒会されていかれる畑野涼太さん・久保智英さん・園田和孝さん、立石明久さん、長い間お疲れ様でした。

今後、今までと変わりなくご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

最後に、枕崎水産加工業協同組合をはじめ、関係団体様のご支援と、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

一年間ご苦労様でした



若鯨会会長
松野下 亮

若鯨会の皆様、一年間お疲れ様でした。任期の方も残り3か月となりましたが、引き続き宜しくお願いします。私は若鯨会に在籍した8年間で、先輩方に色々な事を学び、成長させてもらいました。

この会は、同業者、同世代の同じような悩みや考えを持った仲間達と一緒に汗を流し、考え、楽しく親睦を深めながら活動をしていく場です。いわば加工組合、青鯨会、全鯨青等の大きな組織で活動する為の大切な勉強の場でもあると感じています。

この若鯨会で得た仲間達は10年、20年後の良きパートナーになっていくものと思います。このような思いから本年度会長をするにあたって「仲間と楽しく鯨節を伝えよう」と決意しました。いざ始まってみましたら私自身会員の皆様に助けてもらっていたのかもしれない。食育活動、かつお祭り、港祭り、国民文化祭での鯨削り大会、この一年間本当に多くの事を考えさせられました。

し、微力ながら良き大切な仲間達と一緒に例年同様に有意義なPR活動が出来たと思います。

約4年ぶりに港祭りでは若鯨会のブースを設けオカカおにぎりや腹皮、揚げ出し豆腐を販売しました。祭りの2日間、青鯨会の無料配布活動、大漁みこしがある中、ブースでの販売とバタバタしながら楽しくPRできたと思います。

最後になりますが、会員の協力あつての会であり、自分達の為の活動だと思えますので、残り3月まで引き続き宜しくお願いします。そして次年度会長(有)マルミツ上木原輝彦君のご協力も宜しくお願い致します。